

2015年6月16日

関係者各位

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

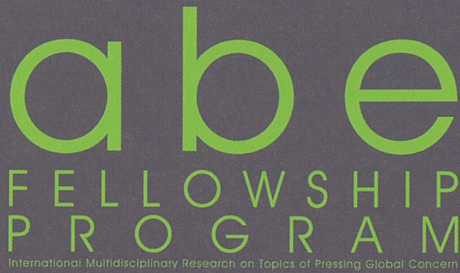
国際交流基金日米センター（CGP）および米国社会科学研究評議会（SSRC）は、現在2015年安倍フェローシップ奨学研究者の申請公募を行っております。つきましては、公募案内パンフレットおよびポスターを同封させていただきました。研究者向け助成金・奨学金資料に加えていただき、回覧いただければ幸いです。

なお、お問い合わせ、電子メール配信用案内等ご希望の場合、あるいはその他資料請求は下記の連絡先で受け付けております。

よろしく御査収下さいますようお願い申し上げます。

敬具

米国社会科学研究評議会（SSRC）
安倍フェローシップ・プログラム
東京事務所代表
緒先 拓哉



安倍フェローシップ・プログラム 個人研究プロジェクト公募

安倍フェローシップ・プログラムの趣旨

本プログラムは、現代の地球的な政策課題で、緊要な取り組みの必要とされる問題に関する、学際的、国際的な調査研究の増進を目的としています。また、長期的に政策指向的研究に従事する新世代の研究者の成長を支援し、そのような政策課題をテーマとして共有する研究者の世界的ネットワークに主要なメンバーとして積極的に加わっていく人材の養成を目指しています。学者、研究者、また学界以外の各分野の専門家からの申請を歓迎します。

安倍フェローシップの対象となる研究課題

安倍フェローシップの対象となるプロジェクトは次の4つのテーマのいずれか1つ以上に該当する社会科学ならびにその関連領域の研究とします。各テーマの下に特に申請を歓迎する課題例を記します。

(1) 個人・社会・国際的な安全保障に対する脅威

食糧、水、エネルギーの供給不安定、疫病の世界流行、気候変動、災害をめぐる準備・予防・回復、紛争・テロリズム・インターネット・セキュリティの問題

(2) 成長と持続的な発展

グローバル金融の安定性、貿易の不均衡と協定、グローバリゼーションへの適応、気候変動への対応、貧困と不平等

(3) 社会・科学・文化のトレンドと変容

高齢化や人口変化、生殖遺伝学の利点と危険性、ジェンダーと社会的疎外、女性やマイノリティへのSTEM教育の広がり、人口移動、過疎化と都市化、仕事自動化の影響、貧困と不平等、コミュニティの回復力

(4) ガバナンス、エンパワーメントと市民参加

民主主義制度、参加型ガバナンス、人権、NGO/NPOの役割、新しいメディアの発展、イノベーション推進における政府の役割

採用基準

本プログラムは、単に一方国に関する理解を深めるよりも、比較研究あるいはグローバルな観点を有する研究を奨励します。審査委員会は、申請された研究プロジェクトの中にa.「政策関連性や政策指向性があること」、b.「現代的な課題を扱っていること」、そしてc.「比較研究あるいは国境を越える視点があること」が明示されていることを採用上の重要な基準とします。

支給条件

安倍フェローシップの支給条件は、研究者の各々異なるキャリア段階のニーズに応えられるよう柔軟性をもった内容になっています。安倍フェローは、採用の翌年4月1日から12月31日にフェローシップを開始し、開始時点からの支給期間は3ヶ月以上12ヶ月を上限とすることになっています。フェローシップの支給期間は連続していなくても構いませんが、フェローシップ開始後24カ月以内に研究プロジェクトを終了しなければなりません。また、全フェローシップ期間ののべ3分の1以上を、相手国(米国または日本)で研究滞在しなければなりません。その他の地域での研究滞在も可能です。

なお、フェローシップ支給確定は原資が確保されることを条件としています。

申請資格

・日本国籍または米国民権の保有者。もしくはその他の国籍保有者で日本または米国に長期にわたる研究拠点を有する者。

・博士号(Ph.D.)または専門分野での同等の経験を有する者。学界以外の専門家からの申請も歓迎します。

・語学の習得度については資格上の要件ではありませんが、申請する調査研究の内容からして語学力が不可欠と判断されるものについては、プロジェクトを完遂させるために必要十分な語学力の証明書を提出することが求められます。

・重要な政策課題に関する研究または具体的政策提言を意図する研究の場合、その目的や内容が党派的とみられるものは安倍フェローシップの対象となりません。

注:同年度内に国際交流基金が公募する2つ以上のフェローシップを受給することはできません。

申請(アプリケーション)についてのお問い合わせ

安倍フェローシップの申請はSSRCのホームページ上<http://soap.ssrc.org>にてオンラインで受け付けています。

申請締め切りは毎年9月1日です。

詳しくは下記のウェブサイトをご参照ください。

アメリカ:

Abe Fellowship Program
Social Science Research Council
One Pierrepont Plaza, 15th Floor
300 Cadman Plaza West
Brooklyn, NY 11201 USA
e-mail: abe@ssrc.org
phone: 1-212-377-2700
fax: 1-212-377-2727

日本:

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-4-1
国際交流基金日米センター内
米国社会科学研究所(SSRC)
東京事務所
Eメール: ssrcABE@gol.com
電話: 03-5369-6085
ファックス: 03-5369-6142

www.abefellowship.info